

## 大杉について情報収集してみても

今年度のアルミ缶回収の収益金を、「大湫町大杉再生募金」に寄付するということを執行部が考えてくれました。社会福祉協議会や地区コミュニティ、幼稚園等に物品を購入して寄付をするということが、還元先としてこれまでの主流になっていきましたが、現状を踏まえて、新しい役立て方を選択してくれたことをとてもうれしく思います。

大杉については、大湫地区在住の生徒は当然知っていることとでしょう。生まれたときから見たり周辺で遊んだりしていることとでしょうから、身近なものになっていくはずですよ。

私は釜戸町に住んでいます。小学生の時に遠足で足を運びました。以前もメッセージに書きましたが、その周りで仲間と手をつないで大杉を囲んだこともありました。現在の釜戸出身の北中生は知っているのでしょうか。

土岐地区、明世地区の生徒はどうですか。遠足に行くには少し遠い気がします。個人に足を運んだことがあるという人もいることとでしょう。校区になったといってもまだ時間が浅いので、大杉を知らない人や見たことがない人も多いかもしれません。

これをきっかけに大湫町の大杉について情報収集してみてもいいでしょうか。校内でも、生徒会執行部の手によるかわいらしいイラストを通して情報発信がなされています。まだまだ知るとよいことはたくさんあると思います。これをきっかけにして、大杉のことや地域のことを知ることを進めてみるのもよいかもしれません。

ラーニングゴモنزの一角に「大湫」とラベルの付いた紙のファイルが並んでいます。それには、大湫町の広報誌が閉じられています。それに目を通すのもいいですよ。私はそれに目を通し、「大湫大杉を応援する若手有志の会」と「大湫町大杉応援サイト」があることを知りました。

私は早速そのサイトにアクセスしてみました。特に、若者が中心となって大湫地域を盛り上げようとしていることを知り、頼もしく感じました。

YouTubeで検索すると、大杉の動画もたくさん出てきます。

そびえ立っている大杉にはもう出会えませんが、そういう情報を理解した上でアルミ缶回収に取り組むと、運び甲斐（がい）や集め甲斐が違ってくるかもしれませんね。

（八月二十五日 記）

